

経済・金融 フラッシュ

9月日銀決定会合： 適時・適切に政策対応を行っていく

経済調査部門 主任研究員 矢嶋 康次

TEL:03-3512-1837 E-mail: yyajima@nli-research.co.jp

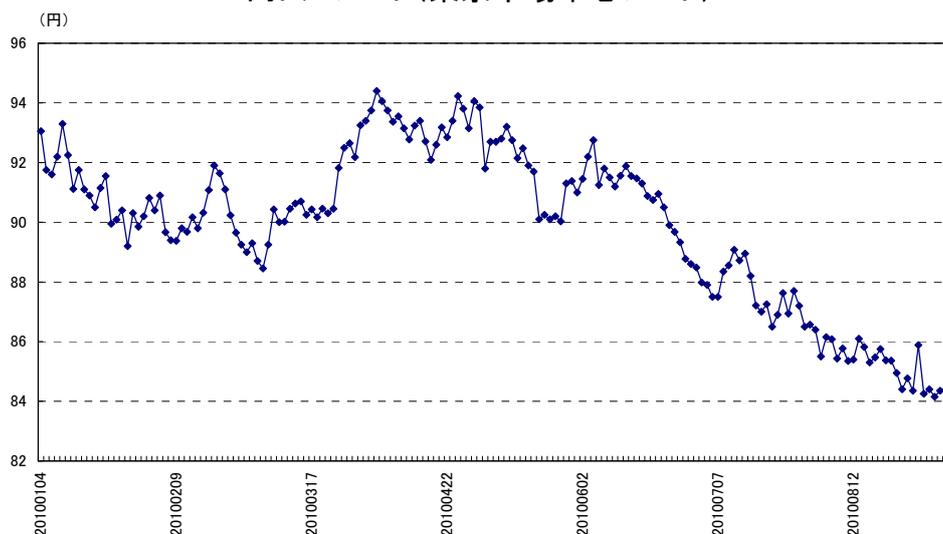
1. 必要と判断される場合には適時適切に政策対応を行っていく

日銀は6.7日開いた金融政策決定会合で、政策金利の誘導目標を0.1%前後に据え置いたが、先行きの経済・物価動向を注意深く点検し「必要と判断される場合には適時・適切に政策対応を行っていく」方針を示した。

米国経済などの先行き、円高・株安を通じた「経済の下振れリスクに注意が必要」と判断し、今回公表文に上記「適時・適切に政策対応を行っていく」という表現をいれた。8月30日に臨時決定会合を開催し、新型オペの増額と期間延長を決めたが、今後も状況次第ではさらなる追加緩和の可能性に含みを持たせた。

円ドルレートは7日に一時83円台半ばまで円高が進んでいる。引き続き欧米経済への不安から円高になりやすい。追加金融緩和は今後も海外経済、FRBの動き、為替・株価動向に大きく左右される展開が続きそうだ。

円ドルレート(東京市場中心レート)



2. 景気判断 : 8月30日の臨時会合と同じ「緩やかに回復しつつある」

景気の現状については「緩やかに回復しつつある」、先行きは「回復傾向をたどるとみられる」と、8

月 30 日の臨時会合と同じ見解を示した。

またリスク要因も「米国経済を中心とする先行きを巡る不確実性の高まりと、これを背景とした為替相場や株価の不安定な動きが続くもとで、わが国経済の下振れリスクに注意が必要」と指摘した。

9 月 29 日に日銀短観が公表される（先行き不安が強くと予想する）。海外経済・金融市場の動向などともあわせて 10 月末の展望レポートは景気判断を下方修正してくることになるだろう。

日銀 景気判断・見通し(黄色は上方修正を示す)

| | 現状 |
|-----------|--|
| 2010年9月 | (据え置き) |
| 2010年8月臨時 | (据え置き) |
| 2010年8月 | (据え置き) |
| 2010年7月 | (据え置き) |
| 2010年6月 | (据え置き) |
| 2010年5月 | 景気は緩やかに回復しつつある |
| 2010年4月 | 景気は持ち直しを続けている |
| 2010年3月 | (据え置き) |
| 2010年2月 | (据え置き) |
| 2010年1月 | (据え置き) |
| 2009年12月 | (据え置き) |
| 2009年11月 | 景気は持ち直している |
| 2009年10月 | 景気は持ち直しつつある |
| 2009年9月 | 景気は持ち直しに転じつつある。 |
| 2009年8月 | (据え置き) |
| 2009年7月 | 景気は下げ止まっている。 |
| 2009年6月 | 景気は大幅に悪化したあとに下げ止まりつつある。 |
| 2009年5月 | 景気は悪化を続けているが、内外の在庫調整の進捗を背景に、輸出や生産は下げ止まりつつある。 |
| 2009年4月 | (据え置き) |
| 2009年3月 | (据え置き) |
| 2009年2月 | (据え置き) |
| 2009年1月 | 景気は大幅に悪化している。 |
| 2008年12月 | 景気は悪化している。 |

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。